

団体名: みよし商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価						今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の健全な経営改善と育成を図るため経営指導員を中心に商工会職員全員が積極的に事業者に接触し相談指導を行う。相談指導に当たっては経営課題の把握に努め、課題解決や経営資源活用のための伴走型支援を行う。	巡回窓口指導案企業 529社(うち非会員15社) 巡回窓口指導回数1,591件(うち非会員29件) うち課題解決提案件数 32件 経営革新承認件数 13件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 132.6%)	30	32	指標 課題解決提案件数 (達成度 106.7%)	30	32	新型コロナウイルスの影響により弱体化した経営基盤を強化するため、事業計画策定、融資斡旋、補助金申請支援など小規模事業者に対し伴走型支援を行った。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	コロナ関連の相談増加以降、相談案件が増えたため、今後の支援目標数を増やす。	○
記帳継続指導	地区内個人事業主の自主記帳の促進を図り、日常記帳から決算・税務申告に至るまで、記帳実務の習得を支援するとともに経営相談を行い、事業所経営の向上を図る。	記帳相談指導延回数 1,234回 指導対象事業者数 96事業所 指導延日数 326日	小規模事業者	指標 記帳指導対象事業所 (達成度 101.1%)	95	96	指標 (達成度 %)			小規模事業者にとって負担となる記帳や税務に関して、支援することにより事務負担軽減が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今年度から始まるインボイス制度の内滑り導入支援を行うなど、引き続ききめ細やかな支援を行う。	
講習会事業	地区内の小規模事業者の要望にあった講習会を実施することで、必要な知識の習得と資質向上を図る。	講習会開催回数及び受講者数 集団 4回 17人(延べ) (内、経営革新1回0人) 個別 37回 82人(延べ) 計 41回 99人(延べ)	小規模事業者等	指標 講習会参加延人数 (達成度 35.9%)	276	99	指標 (達成度 %)			講習会を開催することで、経営に関する知識の習得を推進し、情報の提供ができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	小規模事業者のニーズを把握し、効果のある講習会を開催する。	○
若手経営者等育成事業(青年部・女性部)	地区内の若手経営者や後継者及び事業に携わる女性が地域でのつながりを深め、自ら勉強する姿勢を身につけることで地域の小規模事業者の持続的発展に寄与する。	経営講習会の開催 1回22名 青年部全国大会参加1回 4名 女性部全国大会参加1回 3名	小規模事業者等	指標 事業参加延人数 (達成度 51.8%)	56	29	指標 (達成度 %)			全国大会への参加や講習会を通じて経営者としてのふるまひ姿勢について勉強し、若手後継者及び経営に携わる者としての資質向上を図ることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	講習会については若手後継者等の経営改善につながるものとする。女性部全国大会については部会の視察研修に組み込み、資質向上を図る。	
地域振興・祭典事業	祭事の集客力を活かして地域産業のPRに努め、地域の総合的な発展を図る。 また行政が姉妹都市提携を結ぶ北海道士別市、長野県木曾町との交流を通じ、相互の地域経済の活性化を図る。	産業フェスタ委員会 4回 産業フェスタへの参加 1回43事業所 姉妹都市交流事業 中止	小規模事業者等	指標 事業参加延事業所数 (達成度 71.7%)	60	43	指標 (達成度 %)			コロナ感染が落ち着き、3年ぶりに開催することができた。参加事業者は3年前に比べ若干少ないが、地域に結びついた商工業の振興が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	現行どおり実施する。市内商工業者それぞれの産業の特徴を一般消費者に広くPRする。	○
会員交流事業	会員交流の場を提供して会員相互の親睦を深め、異業種交流を促進することで、ビジネス機会を創出し地域経済の活性化を図る。	会員研修会 中止 役員研修会 1回12名	小規模事業者等	指標 事業参加延人数 (達成度 15.0%)	80	12	指標 (達成度 %)			3密回避等の理由により、会員研修の開催は見送った。役員研修会は少人数であったが開催し、参加者は会員相互の情報交換をすることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 D	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	現行どおり実施する。実施にあたっては感染症対策を講じ、会員交流の場を提供して会員相互の親睦を深め、異業種交流を促進するため開催する。	
産業活性化事業	地域の特性を活かした地域資源の活用と特産品の開発普及・PRを本会で購入するキッチンカーを活用して実施し、地域産業の活性化と地域力の向上に資する。	特産品認定の見直し 1回 特産品委員会開催 7回 参加人数45人(延べ) キッチンカー出展 0回	小規模事業者等	指標 委員会参加延人数 (達成度 150.0%)	30	45	指標 (達成度 %)			特産品の販売機会を提供することで、みよし市の商品の魅力を市内外の消費者にPRすることができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	現行の取り組みに加え、キッチンカーを活用した取り組みを行う。	○
部会・委員会事業	各種団体・産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会へ貢献や発展を図り、地域商工業の活性化に資する。	部会・委員会等会議の開催 工業部会 6回 60名(延べ) 建設部会 8回 39名(延べ) 商業サービ部会 4回 22名(延べ) 食品部会 3回 14名(延べ) 振興条例委員会 3回 27名(延べ) ホーム"リ"ア"リ"委員会 開催なし	小規模事業者等	指標 会議開催回数 (達成度 68.6%)	35	24	指標 (達成度 %)			部会活動を通じて地域内小規模事業者の経営改善に役立つ様々な事業実施に向けた取り組みを行った。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	事業の整理等を行った部会、委員会については開催回数を減らし、効率の良い部会、委員会運営を目指す。	
福利厚生事業	管内の中小・小規模事業者の経営安定と雇用の継続性を図るための各種共済制度の普及を目的とする。健康診断を実施し商工会員の健康増進を図る。	取扱共済加入口数 1,439口 健康診断受検者数 368人	小規模事業者等	指標 各種共済加入口数 (達成度 99.2%)	1450	1439	指標 (達成度 %)			共済の加入促進により事業主の生活安定と雇用対策や労務改善、福利厚生に寄与できた。自己財源の確保も図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 A	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	会員事業所の福利厚生士の充実を図る為、PRに務め、加入や利用の奨励を図る。	

団体名: みよし商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考									
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等											
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値		総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			必要性	目標①	目標②						
雇用促進事業	雇用の継続性を図るために、他市町と合同企業展を共催する。また優良企業表彰や従業員の勤務表彰を実施し経営の健全な育成に資することを目的とする。	優良企業表彰事業所数 該当なし 優良従業員表彰者数 8人 合同企業展参加事業所数 21事業所	小規模事業者等	指標	事業参加事業所数 (達成度 105.0%)	20	実績数値	21	目標数値	20	実績数値	8	目標数値	8	優良従業員を表彰することにより、従業員の勤労意欲の高揚、企業の健全な発展に寄与した。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	優良従業員表彰を行うことにより従業員の勤労意欲の高揚と雇用の定着率向上を図る。	
青年部・女性部事業(青年部)	青年部員間での交流やイベントを通じて地域との関わりを持つことにより部員間の意識を高め、青年部の育成を図るとともに、地域の発展に寄与することを目的とする。	三好池まつり事業の実施 1回20名 産業フェスタ事業の実施 1回14名 講習会・研修会の開催 中止 先進地視察研修 1回 9名 指導者資質向上研修会への参加 1回 3名	小規模事業者等	指標	事業参加延人数 (達成度 59.0%)	78	実績数値	46	目標数値		実績数値		目標数値		事業活動により、部員の資質向上と、地域の発展に寄与した。また、研修会を通じて部員間の異業種交流としての効果も得ることができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 下げる	目標② 現行どおり	事業計画の見直しのため、講習会・研修会事業の回数を減らすため、目標を引き下げる。	
青年部・女性部事業(女性部)	女性部員間での交流や社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする	講習会開催、他団体事業へ参加回数 7回36名(延べ) 視察研修会の開催 1回13名 指導者資質向上研修会への参加 1回 3名 縁結び婚活事業の開催 中止	小規模事業者等	指標	事業参加延人数 (達成度 76.5%)	68	実績数値	52	目標数値		実績数値		目標数値		講習会・他団体事業等の開催により、コロナ禍において出来ていなかった交流が参加を通じて得られた。また研修会の参加を通じ、経営に携わる者としての資質を向上させた。縁結び婚活事業は開催内容を熟考するため、今年度は中止であった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 下げる	目標② 現行どおり	視察研修は全国大会への参加を行程に組み、1泊研修とするため目標数値を下げる。縁結び婚活事業は引き続きより良い内容とするため開催せず検討していく。	
商店街・街づくり事業	新たな生活様式に対応するための様々な経営課題解決に向けた研究を行い、域内小規模事業者の活性化を図ることで地域振興、街づくりに寄与する。	新規街路灯設置 1基 街づくり委員会 10回73名(延べ)	小規模事業者等	指標	新街路灯設置 (達成度 100.0%)	1	実績数値	1	目標数値		実績数値		目標数値		市内を明るくし、防犯・安全のための地域貢献、事業所のPR効果が得られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	防犯、安全のための地域貢献及び事業所のPRを図っていきたい。	
調査・広報事業	商工会ホームページや会報誌等を通じ情報を発信し、また地域経済動向を調査し公表することで、事業者の新規顧客獲得・売上増加に寄与し、あわせて事業者向けに施策等の有用な情報を周知することで経営力の強化を図る。	街の情報満載総合サイト委員会の開催 2回 商工HP登録利用者 39社 広報委員会の開催 8回 いいじゃん通信(商工会広報誌)の発行 4回 ※発行部数87,400部 地域経済動向調査の実施1回	小規模事業者等	指標	いいじゃん通信発行部数 (達成度 111.2%)	78600	実績数値	87400	目標数値		実績数値		目標数値		一般消費者向けに広報誌を発行することで、商工会事業や掲載企業のPRを図ることができた。また商工会ホームページを利用した企業PRも企業が独自に行うより割安で提供することができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 上げる	目標② 現行どおり	商工会及び市内事業者の情報をより多く一般消費者へ情報発信するため、新たに読売新聞および朝日新聞への折込も行う。	○
労働保険事業	事業主に代わって労働保険の申告納付、その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し労働保険の適用促進及び労働保険の適正な徴収を図る。	労働保険委託事業所 195事業所	小規模事業者等	指標	委託事業所数 (達成度 95.1%)	205	実績数値	195	目標数値		実績数値		目標数値		労働保険に関する事務手続きについて事業主の事務負担を軽減することができた。また労災に加入できない小規模事業者も特別加入により労災の適用を受けることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 下げる	目標② 現行どおり	廃業や労働者なしによる委託解除があるため目標数値を下げる。今後も引き続き未手続事業所に対し、労働保険の適用促進を積極的に推進する。	
税務関係団体指導事業(青色申告会)	青色申告会の活動をサポートすることにより、適正な申告と納税を行うよう研修・指導を行う。	青色申告会の研修事業 3回10名(延べ)	小規模事業者等	指標	事業参加者延人数 (達成度 22.2%)	45	実績数値	10	目標数値		実績数値		目標数値		青色申告会の運営を支援することで税務知識の向上、青色申告制度の普及と促進を図ることができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 D	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 下げる	目標② 現行どおり	正しい納税知識に基づいた申告を行えるよう青色申告の勧奨を推進する。なお、参加していた研修の参加方法が変更となったため、目標を変更する。	
創業支援事業	市及び民間事業者と連携し創業における創業を支援し開業率の向上を目指すことにより、地域の活性化、雇用の確保を図る。	創業塾の開催6回61名(延べ) 創業個別相談会の開催 4回10名(延べ)	小規模事業者等	指標	セミナー相談会参加延人数 (達成度 71.0%)	100	実績数値	71	目標数値		実績数値		目標数値		創業予定者に対し、創業前の事前準備として、経営・財務・販路開拓・人材育成のセミナーを開催。個別相談会を開催し創業に向けた必要な知識習得の場を提供できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	現行どおり実施する。創業に対し必要な知識習得を目指すために開催する。	○
講習会事業(伴走型支援事業)	小規模事業者の経営資源を活用する事業計画策定個別セミナーを開催し、小規模事業者の事業計画に基づいた経営を支援し、経営力の強化を図る。	事業計画策定セミナー 1回 5人 事業計画策定個別相談会 8回 8人(延べ)	小規模事業者等	指標	セミナー相談会参加延人数 (達成度 81.3%)	16	実績数値	13	目標数値		実績数値		目標数値		経営資源を活かした事業展開を計画する事業者の事業計画策定支援を実施することで、事業者の将来展望の見える化を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A A	満足度 A A	必要性 A	目標① 上げる	目標② 変更する	現行のセミナーのほか、事業計画策定に際してはIT化・DX化セミナーを実施するため、受講目標者数を増やす。	○

※経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。